

News Letter

2026年

10月

中国四国農政局
山口県拠点

地球にやさしい農産物マルシェ開催！

山口県拠点では、令和8年10月12日（月・祝日）に山口市のゆめタウン山口ゆめ広場で、「第3回未来へつなげるゆめマルシェ ～食べよう！地球にやさしい農産物～」を開催します。地球にやさしい農産物の販売やガラポンなどのイベントも用意し、皆様のご来場をお待ちしています。

このイベントは、生産者と消費者との交流を通じて、地球にやさしい農産物に対する理解醸成や消費拡大を図ることを目的に開催するもので、株式会社イズミゆめタウン山口、山口県、JA山口県にご後援をいただき、今回で3回目の開催となります。

当日、マルシェでは、地球にやさしい栽培方法に取り組む農業者による対面販売を行います。さつまいも、たまねぎ、トマトなどの農産物や米粉パン、焼菓子、ジャムなどの農産物を使った加工品が販売されます。お手に取り、地球にやさしい農産物の良さを体感してください。

また、時間帯を区切ったの参加型イベントとして、クイズ大会、ガラポン抽選会などを開催します。

ガラポン抽選会では、マルシェ店舗での商品購入とアンケート又はベジチェック®でポイントを獲得、6ポイントたまるとガラポンにチャレンジ、景品ゲットのチャンスがあります。

クイズ大会では、地球にやさしい農産物に関する問題にチャレンジしていただき、正解点数の上位3名にマルシェ参加者の農産物をはじめとした景品をプレゼントします。

ベジチェック®では、現状の野菜摂取量を確認いただくことができますので、この機会にぜひ、ご体験ください。

多くの皆様にご来場いただき、地球にやさしい農産物や健康面での野菜の摂取について、考える機会としていただければと思います。



今年の開催チラシ



昨年のマルシェ会場

※「ベジチェック®」は、LED（発光ダイオード）を搭載したセンサーに手のひらを押し当てて、約30秒で、野菜摂取量を推定できる機器です。皮膚に蓄積したカロテノイド量を測定して、タブレット画面に推定野菜摂取量を表示します。

第2回やまぐち女性農業者交流会を開催

山口県拠点は、令和8年9月9日（水）、山口県内の女性農業者の皆さんが地域や家庭などで直面している課題や現状等を共有し、課題解決と更なる交流につながる場を提供することを目的に、「令和8年度やまぐち女性農業者交流会」を開催しました。

当日は、県内各地からご参加いただいた女性農業者15名に加えて、山口県、山口県山口農林水産事務所、山口県萩農林水産事務所、JA山口県、（公財）やまぐち農林振興公社の皆様にもアドバイザーとしてご参加いただきました。



記念撮影

交流会では、有限会社グリーンハウス取締役 松村孝子氏から「女性が働きやすい農業現場に向けて」と題し、会社設立から現在に至る女性の雇用環境の改善に向けた取り組みなど、自らの経験に基づくご講演をいただきました。

講演後、2つのグループに分かれ意見交換を行い、「令和の米騒動における米の販売価格の乱高下」「生産者の販売価格と小売価格の格差が大きい」「資材高騰や熱中症への対策をどうしているか」など、現場の切実な課題や対策など、様々な意見が出されました。



和やかに意見交換

インフォメーション

小規模経営も労災保険への加入が原則義務化されます

労働災害保険については、令和13年度までに、労働者を雇用する小規模な個人経営の農業経営体においても、労災保険への加入が原則として義務化される予定です。

これは、農林水産業の小規模な事業においても重大事故が見られ、労働者の保護の必要性が高まっていることから、これまで「常時5人未満の労働者を使用する個人経営の農業」が対象外とされていた「暫定任意適用事業」が、労災保険法の改正により廃止されることによるものです。

労働者の安全確保と農業経営の安定化を図るため、農作業安全対策の推進と併せて、労災保険への早期の任意加入をご検討ください。



編集：中国四国農政局 山口県拠点

〒753-0088 山口市中河原町6-16

TEL (083)922-5404 <農政局HP> <https://www.maff.go.jp/chushi/>

◆ニュースレターに関するアンケートにご協力ください。 <https://www.contactus.maff.go.jp/j/chushi/form/nl180401.html>